

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社アルファ 上場取引所 東  
 コード番号 3434 URL <https://www.kk-alpha.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 塚野 哲幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画部長 (氏名) 渡辺 勝俊 (TEL) 045-787-8401  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	54,904	0.7	431	△74.3	361	△85.1	31	△98.1
2024年3月期第3四半期	54,522	18.5	1,677	871.7	2,431	151.1	1,611	146.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 487百万円(△89.4%) 2024年3月期第3四半期 4,583百万円(11.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	3.26	—
2024年3月期第3四半期	168.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	66,786	35,295	51.4	3,581.03
2024年3月期	67,948	35,225	50.4	3,572.22

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 34,358百万円 2024年3月期 34,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2025年3月期	—	20.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2024年3月期第2四半期末配当金は創業100周年記念配当10円を含んでいます。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	73,000	△2.1	1,000	△59.0	1,200	△61.1	800	△55.6
								83.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	10,200,000株	2024年3月期	10,200,000株
2025年3月期3Q	605,323株	2024年3月期	617,555株
2025年3月期3Q	9,589,562株	2024年3月期3Q	9,582,445株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費を中心に底堅く推移しましたが、欧州では製造業の低迷等から小幅な回復となり、中国では不動産不況の長期化等により成長の鈍化傾向が継続しました。日本では、雇用・所得環境の改善により、個人消費に持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調で推移しておりますが、物価上昇や各国の金融政策、米国での政策動向等による今後の影響が懸念されております。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります自動車産業におきましては、欧米は堅調であったものの、日本では物価上昇の影響もあり低調に推移しました。アジア地域におきましては市場構造の変化が加速しており、中国市場での日系車の一層の販売不振による減産影響、タイでは引き続きローン金利上昇影響が大きく受け続けて販売減速がさらに顕著となる等、厳しい状況が続いております。セキュリティ機器事業の関連産業であります住宅産業におきましては、新築住宅着工戸数は、前年度から引き続き人件費上昇と資材高騰の影響等により、戸建て注文住宅・分譲住宅は減少、賃貸住宅及びマンションは前年度とほぼ同水準に推移しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は54,904百万円と前年同四半期に比べ、382百万円(0.7%)の増収となりました。利益につきましては、それぞれ営業利益は431百万円と前年同四半期に比べ、1,245百万円(△74.3%)の減益、経常利益は361百万円と前年同四半期に比べ、2,069百万円(△85.1%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は31百万円と前年同四半期に比べ、1,580百万円(△98.1%)の減益となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 自動車部品事業(日本)

自動車部品事業(日本)におきましては、得意先での生産台数は国内・輸出ともに減産となった影響を受け、売上高は7,627百万円と前年同四半期に比べ、134百万円(△1.7%)の減収となりました。先行投資による固定費の増加等により、セグメント利益は203百万円と前年同四半期と比べ230百万円(△53.2%)の減益となりました。

#### ② 自動車部品事業(北米)

自動車部品事業(北米)におきましては、得意先での生産台数は減少したものの、為替換算の影響等から、売上高は13,343百万円と前年同四半期に比べ、961百万円(7.8%)の増収となりました。インフレに伴うコストの高止まりに加え、ペソ・ドル変動の取極影響、一部の新品立ち上げロスが続いたこと等により、セグメント損失は120百万円(前年同四半期はセグメント利益139百万円)となりました。

#### ③ 自動車部品事業(アジア)

自動車部品事業(アジア)におきましては、中国での日系車の販売不振・減産影響を大きく受け続けていること、タイでのローン金利上昇影響による販売減速等により、売上高は11,640百万円と前年同四半期に比べ、918百万円(△7.3%)の減収となりました。徹底した改善活動に加え、中国では事業構造改革として拠点集約等による生産能力削減等を推進しましたが、更なる減収影響が大きく、セグメント損失は762百万円(前年同四半期はセグメント損失673百万円)となりました。

#### ④ 自動車部品事業(欧州)

自動車部品事業(欧州)におきましては、生産台数の増加に加えて、為替換算の影響等から、売上高は12,970百万円と前年同四半期に比べ、1,289百万円(11.0%)の増収となりました。合理化活動の進展は図れたものの、一部拠点での大型設備更新工事に伴う生産・デリバリーロスが発生したこと等により、セグメント利益は28百万円と前年同四半期に比べ73百万円(△72.1%)の減益となりました。

## ⑤ セキュリティ機器事業(日本)

セキュリティ機器事業(日本)におきましては、賃貸住宅市場ではDX推進のアイテムとして非対面での鍵の受渡しができるスマートロックの需要が徐々に増えております。一方で人件費上昇と資材高騰を背景とした新築住宅着工戸数減少の影響と、昨年度からの大手賃貸住宅事業者のプロジェクトによる受注が空室及び入居入替え時の設置に一段落付き減少したことを受け、住宅関連製品の売上は前年同期を下回りました。

ロッカーシステム事業については、訪日外国人観光客数がコロナ前を上回り観光需要が堅調に推移したことでロッカー需要が牽引され、ターミナル向け大型案件の受注につながり、売上は前年同期を上回りました。

なお、売上高は10,035百万円と前年同四半期に比べ、1,384百万円(△12.1%)の減収、セグメント利益は1,181百万円と前年同四半期に比べ、323百万円(△21.5%)の減益となりました。

## ⑥ セキュリティ機器事業(海外)

セキュリティ機器事業(海外)におきましては、日本向け製品(電気錠)の生産の減少により、売上高は7,254百万円と前年同四半期に比べ、1,176百万円(△14.0%)の減収、セグメント利益は696百万円と前年同四半期に比べ、192百万円(△21.7%)の減益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は66,786百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,161百万円の減少となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、454百万円減少し、17,133百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が605百万円減少、受取手形及び売掛金が1,106百万円減少したこと等により、1,506百万円減少し、38,426百万円となりました。

固定資産は、建物及び構築物が491百万円減少、投資有価証券が262百万円減少しましたが、有形固定資産のその他が1,265百万円増加したこと等により、348百万円増加し、28,350百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が1,032百万円増加したこと等により、531百万円増加し、24,429百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が1,854百万円減少したこと等により、1,763百万円減少し、7,061百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が403百万円減少しましたが、為替換算調整勘定が745百万円増加したこと等により、70百万円増加し、35,295百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の50.4%から1.0ポイント増加し、51.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、売上高73,000百万円、営業利益1,000百万円、経常利益1,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益800百万円を見込んでおります。なお、為替レート的前提につきましては、1 US \$ = 152円、1 ユーロ = 164円、1 元 = 21円、1 THB = 4円としております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,801	9,195
受取手形及び売掛金	15,246	14,139
電子記録債権	1,144	1,432
商品及び製品	2,694	2,548
仕掛品	1,346	1,674
原材料及び貯蔵品	7,006	6,779
その他	2,765	2,703
貸倒引当金	△71	△46
流動資産合計	39,933	38,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,085	4,594
機械装置及び運搬具(純額)	7,497	7,346
工具、器具及び備品(純額)	2,059	1,931
土地	1,814	2,026
その他(純額)	3,207	4,472
有形固定資産合計	19,664	20,371
無形固定資産		
のれん	781	647
その他	2,424	2,357
無形固定資産合計	3,206	3,005
投資その他の資産		
投資有価証券	4,364	4,101
その他	892	1,000
貸倒引当金	△124	△128
投資その他の資産合計	5,131	4,973
固定資産合計	28,002	28,350
繰延資産	12	8
資産合計	67,948	66,786
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,983	7,858
短期借入金	9,767	10,800
未払法人税等	911	300
賞与引当金	560	628
製品保証引当金	334	291
事業構造改善引当金	363	3
その他	3,976	4,546
流動負債合計	23,897	24,429
固定負債		
社債	1,025	1,020
長期借入金	5,300	3,445
退職給付に係る負債	307	261
資産除去債務	42	-
リース債務	898	1,370
その他	1,250	963
固定負債合計	8,825	7,061
負債合計	32,723	31,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,962	2,968
利益剰余金	19,903	19,500
自己株式	△551	△540
株主資本合計	25,074	24,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,573	2,342
為替換算調整勘定	6,582	7,327
その他の包括利益累計額合計	9,156	9,670
非支配株主持分	994	936
純資産合計	35,225	35,295
負債純資産合計	67,948	66,786

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	54,522	54,904
売上原価	46,289	47,633
売上総利益	8,232	7,270
販売費及び一般管理費	6,555	6,839
営業利益	1,677	431
営業外収益		
受取利息	53	54
受取配当金	76	97
為替差益	793	-
不動産賃貸料	17	19
助成金収入	25	54
その他	58	99
営業外収益合計	1,025	326
営業外費用		
支払利息	213	264
為替差損	-	87
その他	57	43
営業外費用合計	270	396
経常利益	2,431	361
特別利益		
固定資産売却益	5	10
子会社清算益	-	10
特別利益合計	5	20
特別損失		
固定資産売却損	0	69
固定資産除却損	3	190
減損損失	331	-
災害による損失	-	21
特別損失合計	335	281
税金等調整前四半期純利益	2,100	101
法人税、住民税及び事業税	800	395
法人税等調整額	△146	△239
法人税等合計	654	156
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,446	△55
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△165	△86
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,611	31



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,446	△55
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	407	△231
為替換算調整勘定	2,729	773
その他の包括利益合計	3,136	542
四半期包括利益	4,583	487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,671	545
非支配株主に係る四半期包括利益	△88	△57

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	6,047	12,314	11,612	11,480	11,352	1,668	54,476	—	54,476
その他の収益	—	—	—	—	45	—	45	—	45
外部顧客への 売上高	6,047	12,314	11,612	11,480	11,398	1,668	54,522	—	54,522
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,714	67	946	200	22	6,762	9,712	△9,712	—
計	7,761	12,382	12,558	11,680	11,420	8,431	64,234	△9,712	54,522
セグメント利益 又は損失(△)	434	139	△673	101	1,504	888	2,394	△717	1,677

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去24百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△742百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	6,098	13,330	10,891	12,639	9,966	1,940	54,865	—	54,865
その他の収益	—	—	—	—	39	—	39	—	39
外部顧客への 売上高	6,098	13,330	10,891	12,639	10,005	1,940	54,904	—	54,904
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,529	13	748	331	30	5,314	7,967	△7,967	—
計	7,627	13,343	11,640	12,970	10,035	7,254	62,871	△7,967	54,904
セグメント利益 又は損失(△)	203	△120	△762	28	1,181	696	1,226	△795	431

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去52百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△848百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,493百万円	2,662百万円
のれんの償却額	226	149